



MedtronicMRIデバイス 発売記念講演会

～MRI対応デバイスの現在の

立ち位置と潮流～

日時:2017年1月7日(土)
15:00～17:30

会場:福井県民ホール
(AOSSA 8 F)

福井県福井市手寄1-4-1
TEL:0776-87-0003

主催:日本メドトロニック株式会社
金沢支店 CRHF事業部

後援:一般社団法人
福井県臨床工学技士会

本件に関する問合せ先:日本メドトロニック金沢支店
tel:076-238-5807 fax:076-238-5790
E-mail:yusuke.takai@medtronic.com

I. 情報提供

「条件付きMRIデバイスの現状報告」
日本メドトロニック株式会社 梶原 健児

Part I 座長 福井県済生会病院
循環器科 前野 孝治 先生

「MRI対応デバイスの管理と撮像
～臨床工学技士の役割～」
演者 八戸市立市民病院 臨床工学科
花田 香 先生

「MRI撮像を最大限活かすために
～リスク&ベネフィット～」
演者 八戸市立市民病院 放射線科
石倉 牧人 先生

Part II 座長 福井大学医学部附属病院
循環器内科 多田 浩 先生

「MRIの臨床有用性と技術進歩」

演者 杏林大学医学部 放射線科
似鳥 俊明 先生

Medtronic

Medtronic MRIデバイス発売記念講演会

『MRI対応デバイスの現在の立ち位置と潮流』

近年、日本におけるMRI検査を取り巻く環境が急速に変化してきています。従来は原則禁忌とされてきた心臓デバイス植込み患者へのMRI検査が、2012年に1.5テスラMRIに限定してMRI対応型ペースメーカーとして薬事承認され、現在では3テスラMRIへ薬事承認が拡大、また植込み型除細動器(ICD)、両心室ペーシング機能付き植込み型除細動器(CRTD)へと対応デバイスも広がっています。

一方、現在5社あるデバイスメーカーより10種類を超えるMRI対応デバイスが発売され、各々に撮像条件が異なるなど、管理の煩雑化が懸念事項として取り上げられる機会も増えてきたように思えます。

本講演会ではそれぞれの専門の先生方に各々の立場でご講演頂いた上で、MRI撮像における有用性、安全性や院内での運用について、今一度医師、メディカルスタッフを含む幅広い視点から議論して頂く場となればと考えています。

第一部座長:前野 孝治
第二部座長:多田 浩

ー福井県県民ホールご案内ー



会場について

福井駅東口、隣接の商業ビルアオッサの8Fとなります

提携駐車場について

- ・アオッサ地下パーキング満車の場合は福井駅西口(会場反対口)のパーク23へお停め下さい
- ・会場受付時に弊社スタッフへ駐車券をご提示ください

※駐車場が混み合う可能性がございますので、出来る限り公共交通機関の御利用をお願い致します

福井県県民ホール
(AOSSA内8F)